



試行錯誤が成長の鍵

学習進路だより 1月号②



探究成果発表会どうでしたか&学年末カウントダウン!の巻

Check! 01

探究発表会、どうでしたか？ 思考&試行を本気でやって楽しもう

3年生の地域探究セミナー成果発表会、いかがでしたか。発表の裏側には、さまざまな苦勞があったはず。みなさんもすでにテーマをおおむね決めたところだと思いますが、2年生の探究ではあれこれ試行錯誤を楽しんでください。失敗は成功の母。失敗から次につなげていく経験をたくさんしましょう。グループのみんなと意見を出し合っ、本気で考えて悩み、やり遂げて達成感を味わう。あと2年間で、その苦勞と楽しさを存分に感じてほしいです。最初から最後までスラスラとうまくいくのはもちろん素晴らしいのですが、実は失敗から得るものの方が大きいです。その経験をしっかり積んでいきましょう。そして先輩たちを超える発表をしてください。Let's make mistakes!

Check! 02

「質問をするのが苦手」という人へ。「疑問づくり」を習慣化しよう

ところで、探究成果発表会で、みなさんは3年生に質問できましたか？「質問を考えるのって苦手なんだよね……」という人、いますよね。ということで、かつて疑問をまったく出せずに困っていた私が、学生時代にやっていたことをご紹介します。半年続けると、スムーズに出せるようになってきます。探究だけでなく、普段の日常会話を膨らませるのにも役立つかも！



①新しく聞いたこと・読んだこと・学んだことについて、必ずいくつかの疑問を考える習慣をつける。

- ・無理やりでもいいので、とにかく疑問をひねり出す。(例:犬を英語で dog っていうけど、なんで?)
- ・5W1Hを当てはめるだけでもいい。「本当に？」も有効。とにかく数多く考える。
- ・Why(なんで?どうして?)は5回くらい自問自答して深めていくとよい。

②その疑問はきちんと言葉にして、ノートや手帳に書き留めていく。

- ・書いてみるとあいまいなところが明確になるのでブラッシュアップする。
- ・ときどき読み返すことで、自分の質問づくりの傾向を分析する。
- 避けている・あまりやっていない疑問の作り方があれば、試してみる。



③あとできちんと調べたり考えたりしてみる。

- ・疑問を疑問のままにしておかないで、調べてみたり、「もしかして、こうだからかな…?」と考えてみたりする(これが「仮説をたてる」ってことだ!)

Check! 03

もうすぐ学年末テスト。しっかり準備して、積み重ねよう

1年間の総仕上げですね。もう対策を始めている人もいることでしょう。学年末テストは試験範囲が広いので、対策する時間が十分に取れていることが大切です。後回しにせず、できることをどんどんやっていきましょう！



探究成果発表会どうでしたか&学年末カウントダウン!の巻

Check! 01

探究発表会、どうでしたか？ 次はみんなの番。夏までどんどん進めよう

3年生の地域探究セミナー成果発表会、いかがでしたか。発表に至るまで3年生のみなさんはいろいろな苦労をしてきました。……というのは2年生のみなさんなら想像がつかはず。

みなさんも最終発表まであと一年。現時点での進行はいかがですか？ ポスター作りにも時間がかかるので、探究そのものに時間をかけられるのは夏休み明けくらいまで(オーストラリア語学研修に行く人もいるでしょうから、チームによっては夏休み前になるかもしれません)。残りの期間、試行錯誤や失敗から次につなげていく経験をたくさんしてほしいです。調べただけに終わらせず、実際にやってみたり、より深く考えてみたり、いろいろな工夫を試してみてください。本気で取り組んだ人だけが見ることができる体験を、しっかり味わってもらいたいと願っています。困ったことがあれば、抱え込まずに、先生にもどんどん相談しましょうね！ そして来年、先輩たちを超える発表をしましょう！

Check! 02

「質問をするのが苦手」という人へ。「疑問づくり」を習慣化しよう

ところで、みなさんは3年生に質問できましたか？「質問を考えるのって苦手なんだよね……」という人、いますよね。ということで、かつて疑問をまったく出せずに困っていた私が、学生時代にやっていたことをご紹介します。半年続けると、スムーズに出せるようになってきます。探究だけでなく、普段の日常会話を膨らませるのにも役立つかも！



①新しく聞いたこと・読んだこと・学んだことについて、必ずいくつかの疑問を考える習慣をつける。

- ・無理やりでもいいので、とにかく疑問をひねり出す。(例:犬を英語で dog っていうけど、なんで?)
- ・5W1Hを当てはめるだけでもいい。「本当に?」も有効。とにかく数多く考える。
- ・Why(なんで?どうして?)は5回くらい自問自答して深めていくとよい。

②その疑問はきちんと言葉にして、ノートや手帳に書き留めていく。

- ・書いてみるとあいまいなところが明確になるのでブラッシュアップする。
- ・ときどき読み返すことで、自分の疑問づくりの傾向を分析する。
避けている・あまりやっていない疑問の作り方があれば、試してみる。



③あとできちんと調べたり考えたりしてみる。

- ・疑問を疑問のままにしておかないで、調べてみたり、「もしかして、こうだからかな…?」と考えてみたりする
(これが「仮説をたてる」ってことだ！)

Check! 03

もうすぐ学年末テスト。しっかり準備して、積み重ねよう

1年間の総仕上げですね。もう対策を始めている人もいることでしょう。

学年末テストは試験範囲が広いので、対策する時間が十分に取れていることが大切です。

後回しにせず、できることをどんどんやっていきましょう！





質問力を磨こう！

学習進路だより

1月号②



地域探究セミナーお疲れ様&学年末カウントダウン！の巻

Check!

01

発表をするばかりでなく、よく聞くのも大事。質問はガンガンしよう！

1月21日の地域探究セミナー成果発表会は、3年間の集大成でしたね。1・2年生にもよい刺激になったことでしょう。29日には他の附属中との発表会がありますね。質問は相手への興味関心の現れ。こうしたプレゼンテーションでは質問をすることがとても大切です。素朴な疑問でかまいません(むしろそれこそが大切!)、たくさん質問して&されてきてください。2月21日には校内で高校生との探究発表会も予定されています。発表力も質問力もアップさせて、高校生たちを驚かせましょう!

Check!

02

「質問をするのが苦手」という人へ。「疑問づくり」を習慣化しよう

とはいえ、「質問を考えるのって苦手なんだよね……」という人はいますよね。きっとあなたは、人の話を「そっかー!」と素直に聞くことができる人。それも素敵な資質なのですが、疑問を持つ力も大事!ということで、かつて疑問をまったく出せずに困っていた私が、学生時代にやっていたことをご紹介します。半年続けると、スムーズに出せるようになってきます。探究だけでなく、普段の日常会話を膨らませるのにも役立つかも!



①新しく聞いたこと・読んだこと・学んだことについて、必ずいくつかの疑問を考える習慣をつける。

- ・無理やりでもいいので、とにかく疑問をひねり出す。(例:犬を英語で dog っていうけど、なんで?)
- ・5W1Hを当てはめるだけでもいい。「本当に?」も有効。とにかく数多く考える。
- ・Why(なんで?どうして?)は5回くらい自問自答して深めていくとよい。

②その疑問はきちんと言葉にして、ノートや手帳に書き留めていく。

- ・書いてみると表現のあいまいなところがわかるのでブラッシュアップする。
- ・ときどき読み返すことで、自分の質問づくりの傾向を分析する。
避けている・あまりやっていない疑問の作り方があれば、試してみる。



③あとできちんと調べたり考えたりしてみる。

- ・疑問を疑問のままにしておかないで、調べてみたり、「もしかして、こうだからかな…?」と考えてみたりする(これが「仮説をたてる」ってことだ!)

Check!

03

もうすぐ学年末テスト&新教研テスト。3年間の総仕上げを!

3年間の総仕上げの時期になりました。もうテスト対策を始めている人もいることでしょう。とくに新教研テストは本当に最後の力試しとして、中学校で学習した全範囲が問われます。

みなさんは高校入試こそありませんが、4月からは高校入試を経てきた生徒たちと競いあうこととなります。以前お話ししたとおり、高1の秋には文理選択も待っています。国数英だけでなく理社も重要な要素です。「高校に入ってから力をつけなおしながら考えればいいや」とのんびり構えるのではなく、今こそ自分の将来を考えて、基礎的な力をつけておきましょう。学年末テスト・新教研テストを、そのための踏み台にしてください。ファイト!

